



“ぎまままに”  
川柳

漁獲減 さんま今では 高級魚 野々村政美	涼風に 薫る秋刀魚に 秋感じ 明石家	スーパーで サンマ横目に 素通りし ラン	さんま少 海流変動 高値なり 森本 千代美	風に乗り さんまが泳ぐ 秋の空 足立昌代	夕ぐれに 秋刀魚の香り 帰路いそぐ ほこべん	新米と さんま味覚よ 舌つつみ チロ	食べ飽きた 秋刀魚が今や 高級魚 月丘夢子
-------------------------------	-----------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-------------------------------	---------------------------------	-----------------------------	--------------------------------

今月のお題

さんま

**12月1日号の投稿募集**  
お題は「大掃除」です (1人1句)。  
締め切りは11月13日(水)です。

**応募方法**  
住所・氏名またはペンネームを明記し、直接または郵送、Eメールで広報広聴係へ。  
〒509-5192 (住所不要)   ✉ koho@city.toki.lg.jp  
☎ 1111 (内線613) / FAX 7750  
※応募多数の場合は採用されないことがあります。

### わたしのほやねさん

「ほやねさん」とは…  
つらいときや悩んだとき、そっと寄り添って「ほやね、ほやね」と話を聞いて、心を支えてくれる人

私は、結婚を機に主人の実家があるこの町に引っ越してきました。初めは、アパート暮らしで仕事も忙しく、周りに知り合いがいないことをそれほど気に留めることもなく過ごしていました。お隣にどんな人が住んでいるのかももちろん知りませんでした。

第一子が生まれるときに、一戸建てを購入し、今の住まいに引っ越しをしました。新生活を楽しみにしていたはずが、初めての子育てという不安や悩みに加えて、ご近所付き合いはうまくできるだろうかという大きな不安に襲われました。そんな気持ちを抱えながら、引っ越しの挨拶を兼ねてお隣の家を訪ねると、とても気さくで優しくなおばあちゃんが出てきてくれました。「あらまあ、かわいい赤ちゃん。なんて名前？」そんなやりとりをして以降、そのおばあちゃんは、私と子どもを見かけると必ず挨拶をしてくださり、「大きくなったね。」「お話が上手になったね。」とたくさん話しかけてくださいました。

ご近所づきあいが希薄になってきていると言われる世の中なのに、私には、私の家族のことを気にかけてくれ、子どもの成長と一緒に喜んでくれる人がすぐ隣にいます。いつも優しく声をかけてくださる方が近くにいることが、こんなにうれしいことなのだと思ひ、子育てを頑張ろうという活力につながっています。

ペンネーム ぱんのとら (土岐津町)



## 募集

掲載の「わたしのほやねさん」ストーリーの他、市内に実在する「まちのほやねさん」を募集します。あなたがこれまでに出会ったほやねさんを400字程度の紹介文と一緒にお寄せください。

**応募方法**  
住所・氏名またはペンネーム・電話番号を明記し、直接または郵送、Eメールでまちづくり推進課へ。  
〒509-5192(住所不要)   ✉ machisui@city.toki.lg.jp  
☎ (内線312) / FAX 7763